



日野川上細見地区の河川改修事業が完成しました！！

- 日野川中流部の立岩地区は、日野川において最も危険な箇所であり、戦後最大の洪水(整備計画流量)において、家屋浸水や国道181号冠水などの被害が発生する箇所となっています。
- 立岩地区の中でも、特に上細見は川際に家屋が張り付いており、出水による危険度は高い状態にありました。
- 令和3年5月に完成し、整備計画流量が流下可能となり、立岩地区の浸水被害解消と主要交通(国道181号、JR伯備線等)を守ることが可能となりました。

■事業効果



着工前



着工後



■水制の復元



水制とは、土砂・水の流れを制御して治水や土砂堆積を促す工法のことをいいます。



日野川 上細見地区河川改修事業 完成



国土交通省
中国地方整備局
日野川河川事務所

事業の必要性・緊急性とその対応

■事業の必要性・緊急性とその対応

中流部で最も危険な箇所（伯耆町立岩地区）

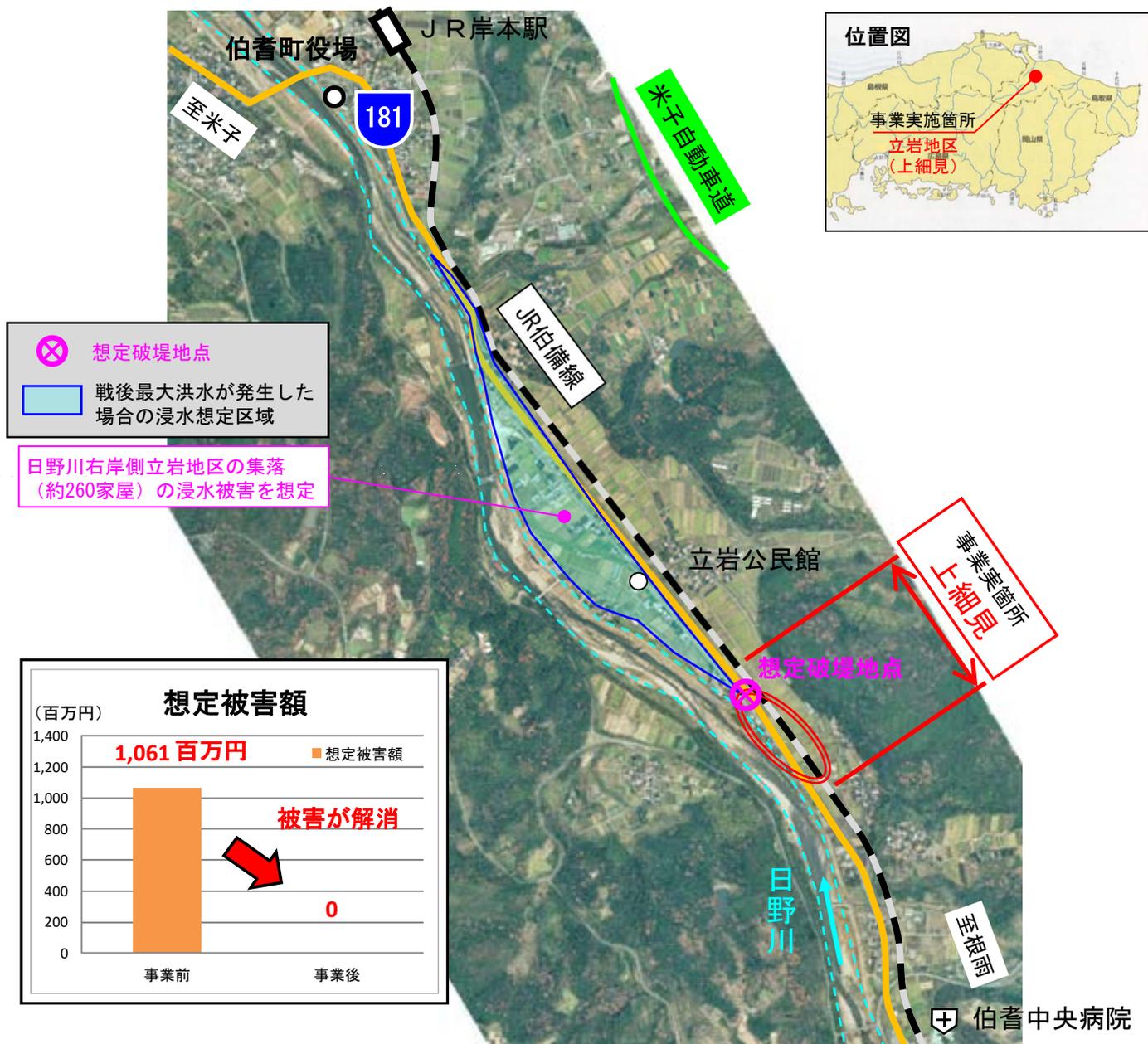
- 日野川中流部の立岩地区は、日野川において最も危険な箇所であり、戦後最大洪水（整備計画流量）において、家屋浸水や国道181号冠水などの被害が発生する箇所となっています。
- 川際に家屋が張り付いており、河岸洗掘の恐れがある箇所は、唯一この立岩（上細見）地区のみであり出水による危険度は高い状態にあります。
- 近年（平成18、23、29、30年度）の出水で家屋近くまで水位が上昇し、地元自治体・地元住民から地区の治水対策に対する要請が高まっています。（地元要望により現地にソフト対策として、備蓄資材の設置、水位計・量水標の設置を実施）



築堤による浸水被害解消と主要交通機軸を守る

- 危険箇所である立岩地区の治水対策として築堤を実施し、整備計画流量が流下可能となります。
- 家屋の浸水被害から立岩地区を守るだけでなく、山陰と山陽を結ぶ国道181号、JR伯備線という主要交通機軸も守ります。

■事業効果



上細見地区の近年の出水状況



伯耆町上細見

平成18年7月洪水



平成29年10月22日（台風21号通過後）



平成30年9月台風24号（溝口）



家屋浸水まであと1m程度のところまで水位上昇

平成30年7月7日出水



平成30年7月7日出水



川際に家屋が張り付いている状況
家屋浸水まであと1m程度のところまで水位上昇

平成30年9月台風24号（上細見）

○立岩（上細見）地区の出水状況
・平成30年度台風24号による出水で溝口地点で氾濫危険水位を上回る洪水が発生。
（溝口地点：ピーク流量約2,500m³/s、整備計画流量2,700m³/s）

上細見地区堤防工事の概要（完成写真）

■ 工事完成写真



日野川



日野川

■ 総事業費

【工事概要】

鳥取県西伯郡伯耆町上細見地先における築堤護岸等

事業期間：令和元年7月
～ 令和3年5月

事業費：6億3000万円

【工事数量】

- 河川土工
- 掘削（河道） V = 22,800 m³
- 盛土 V = 6,900 m³
- 法覆護岸工
- ブロック張工 A = 8,246 m²
- 擁壁護岸工 L = 580 m
- 根固め工 N = 610 個
- 水制工 N = 7 基

■ 工事状況写真

河道掘削

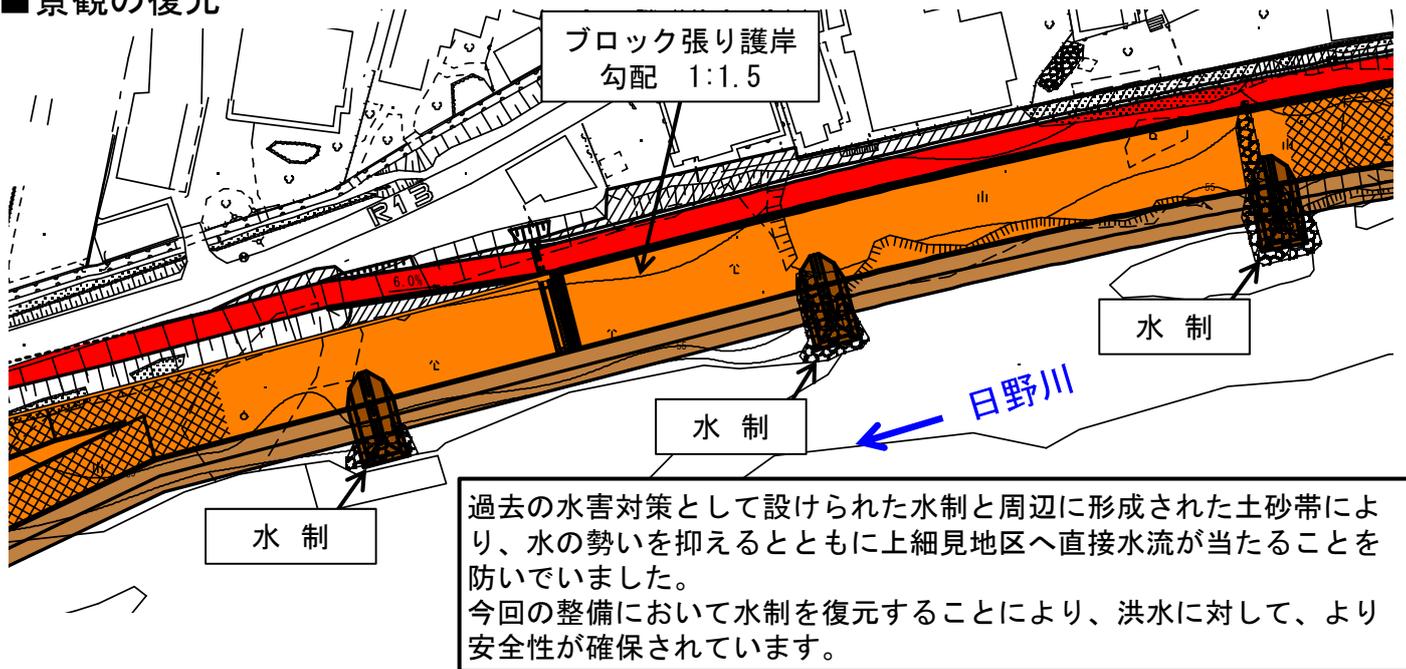
床掘

大型ブロック据付



■環境配慮

■景観の復元



(整備前の景観)



(今回整備の水制)

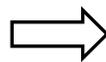
■その他生物への配慮

■オオサンショウウオ生息調査

工事に先立ち特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息調査（取上げ調査）を行い、工事範囲から別の場所へ移植を行うことにより保護を行いました。



(取上げ調査状況)



(確認後、工事範囲外へ放流)



<https://k.river.go.jp>

あなたのお近くの河川水位をリアルタイムに提供しています。
自らの命を守る『避難行動』にお役立てください。



国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所
〒689-3537 鳥取県米子市古豊千678
TEL : 0859-27-5484(代表)
FAX : 0859-27-2431
メール : hinogawa@cgr.mlit.go.jp